

新城設楽普及だより

令和5年 新春号

新城設楽農林水産事務所

農業改良普及課 北設楽郡設楽町田口字小貝津6-2

TEL: 0536-62-0546 FAX: 0536-62-1533

新城駐在室 新城市字石名号20-1

TEL: 0536-23-2172 FAX: 0536-23-6010

メール(共通) shinshiroshitara-fukyu@pref.aichi.lg.jp

新年の御挨拶



課長
鶴田 正一

新年にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。

昨年7月には、みどりの食料システム法が施行され、スマート農業の進展が地域農業の発展に寄与することに期待したいと考えています。また一方で、10月に鹿児島県で開催されました全国和牛能力共進会での優等賞4席を獲得した嬉しいニュースもありました。

こうしたなかで、新城・設楽地域の農業振興・農業者の方々を支援するため、①意欲のある担い手の確保・育成、②産地の収益力向上に向けた取組の支援、③環境と安全に配慮した持続可能な農業の推進、④活力のある地域づくりに向けた取組の支援等を市町村・関係団体との連携により、特色のある新城設楽地域の農業の実現にむけて努めてまいります。

本年も協同農業普及事業の運営に御理解と御協力を賜りますようお願いするとともに、皆々様の益々の御健勝を祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

三士の新規認定者の御紹介



令和4年11月22日に認定式が愛知県庁で開催され、愛知県知事から農業経営士、農村生活アドバイザーに2名の方が認定されました。地域農業の発展、地域づくりの活動に寄与することが期待されます。

- ・ 農業経営士
- ・ 中神啓之氏
- ・ 新城市
- ・ イチゴ



- ・ 農村生活アドバイザー
- ・ 権田めぐみ氏
- ・ 新城市
- ・ 養鶏



＊ 第12回全国和牛能力共進会で全国4位に輝く！

令和4年10月6日（木）から10日（月・祝）に鹿児島県霧島市で第12回全国和牛能力共進会が開催されました。本共進会は5年に1度開催され、全国各県の優秀な和牛を集めて改良やその優秀性を競うもので、「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。

愛知県の代表牛は5頭で、管内では肥育牛1頭と繁殖雌牛2頭の計3頭が出品されました。共進会の1番の激戦区で58頭が出場した去勢肥育牛の肉質を競う第8区に、(農)源氏肥育組合が1頭出品し、優等賞4席受賞という本県では過去最高の成績を成し遂げました。

種牛としての優秀性を競う第2区・第3区には2頭出場し、第2区（若雌の1）に出場した垣内氏の「かほこ号」は2等賞、第3区（若雌の2）に出場した峯田氏の「りんどう号」は1等賞11席と奮闘しました。

地域の肉用牛肥育農家及び和牛繁殖農家の方々の長年の改良や飼養管理技術が全国で高く評価されたことは、愛知県の誇りであり、畜産振興に大きく寄与する事が期待されます。



和牛能力共進会審査の様子

水田営農に関するスマート農業

中山間地の水田営農には、農業従事者の減少や高齢化、傾斜地に狭小な水田が存在するなど、様々な課題があります。こうした中、省力的で安全に農作業をこなせる新技術の導入は喫緊の課題です。

農業改良普及課では、こうした課題を解決するため、スマート農業技術の現地検証に取り組んでいます。

水位センサーは、水田に機器を設置することで、離れた場所から、水田の湛水状態をスマートフォンで確認できるため、見回りの時間を削減できます。

また、リモコン草刈機（畦畔や遊休農地の草刈り作業）やドローン（農薬や追肥の散布作業）は、遠隔操作が可能のため、作業の省力化や農作業安全（水田での転倒や熱中症の防止）に寄与し、夏の暑い盛りの作業でも、疲労を軽減することができます。



リモコン草刈機は離れた所から指一本で操作可能

新城農業者のつどいを開催

新城市では、農業経営士協会新城分会、農村生活アドバイザー協会新城分会、農村輝きネット・しんしろ、新城青年農業士会、新城市4Hクラブの会員が一堂に会し、「新城農業者のつどい」を毎年開催しています。

今年度は12月5日（月）に愛知東農協新城営農センターで新城市長との意見交換を行いました。当日は関係者も含めて23名が参加し、各農業者団体の紹介、市長への意見・要望と意見交換を行いました。市長への要望では、新規就農者への補助や経営継承への支援などを求める声があがりました。また、地産地消推進の考え方や農業者団体にどのような活動をして欲しいのかを市長に問う意見もありました。

意見交換の後には、つくしんぼうの会が作る弁当や茶菓子を食べながら交流を行い、参加者は自由に交流を楽しむことができました。



農業者団体と新城市長との意見交換